

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第75回）に係る面談
2. 日時：令和元年10月16日（水）15時40分～17時45分
3. 場所：原子力規制庁 4階幹部会議室

4. 出席者

原子力規制委員会

伴委員

原子力規制庁

櫻田原子力規制技監

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、岩永企画調査官、林田管理官補佐、松井安全審査官、田上

審査係、磯田係員

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー 小野廃炉・汚染水対策最高責任者

他19名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、資料に基づき以下について説明があった。

- 建屋滞留水の進捗状況について
- 東京電力福島第一廃炉推進カンパニーの組織改編について
- 調達・品質管理の改善について
- 1/2号機排気筒の上部解体状況について
- 3号機使用済み燃料プールからの燃料取り出し作業の進捗状況について

○原子力規制庁から、特定原子力施設監視・評価検討会に向けて以下について説明の準備を求めたところ、東京電力から検討するという旨の回答があった。

- 3号機サプレッションチェンバ（S/C）水位低下策については、水位低下策の成立性を議論し検討するために具体的な見通しを策定すること。
- 3号機 S/C 耐震評価については、評価結果の裕度の数値に関して具体的な評価基準を説明すること。
- 建屋滞留水処理については、台風19号に対する事前の備えや対策の効果を振り返り、評価すること。
- 東京電力福島第一廃炉推進カンパニーの組織改編については、組織改編を行うことによって見込まれる廃炉作業の支障及び改善される点について、具体的な例を挙げて分かりやすく説明すること。
- 調達・品質管理の改善について、直面している3号燃料取扱設備や排気

筒解体装置の不適合に対してどう改善されるのか説明すること。また、直近の海外調達品における具体的な改善策を説明すること。

6. 資料

- 3号機サプレッションチェンバの耐震性及び PCV 水位に関わる対応について(案)
- 福島第一廃炉推進カンパニーの組織改編について福島第一廃炉推進カンパニー品質管理強化の取り組みについて(案)
- 福島第一原子力発電所 1 / 2号機排気筒解体工事の進捗状況について(案)
- 3号機燃料取出設備の状況について(案)
- 建屋滞留水処理の進捗状況について